

1 月号

2017年 1月 15日発行



あさのがわ

みやちくじちしんこうかい 広報

宮地区自治振興会 甲賀市甲南町野川 8 1 8 甲南第三地域市民センター内
電話 0748-86-8518 FAX 0748-86-8519

謹賀新年

本年も宮地区自治振興会を
よろしくお願ひ申し上げます

平成29年 新春



宮ファミリーウォーク

宮地区自治振興会主催の宮ファミリーウォークを十一月六日(日)に実施いたしました。

今回は、伊賀・甲賀の忍者の里を巡るコースで、年配の方から幼児までの三世代の37名の参加者が集う楽しいイベントとなりました。

9時に第三地域市民センターを出発し、一路伊賀市の手力神社を目指し1時間半あまりで到着しました。地元の方員の方から神社の謂われを伺った後、メインの目的地であるモクモク手づくりファームに向けて出発しました。

約1時間で到着しましたが、園内は行楽シーズンでたくさんの方々がおり、真っ先に食事場所を確保しエネルギーの充電を行いながら、秋のひとときを満喫しました。

園内を自由行動で過ごした後、上野川の地域市民センターを目指し帰路につきましました。県境付近の坂道は、まさに心臓やぶりの坂道で、疲れた足に鞭を入れながらなんとかクリアし、全員が完歩することができました。

運動不足の解消や地域の方々とのふれあいの場の提供など、成果を収められたと感じております。今後とも自治振興会の事業にご支援をよろしくお願ひします。



この交流事業は、3年計画で進めてまいりました。本年は、最終年度でありお互いの事業に参加する取組として、十一月二十日にやまびこ文化祭2016に宮地区自治振興会から二十名のスタッフで参加いたしました。

取組事業の内容は、宮のもち米を使った餅つきの実演と試食、またもち米・よもぎ餅・ヨモギ粉および梅干し(愛柑梅)の販売を行いました。

宮地区自治振興会の旗を立てたテントに、珍しさも手伝って多くの土山町山内地区の皆さんが詰めかけていただき、好調な販売とともに親しく交流ができました。

最後に、十二月三日に行う「わくわくフェア」で山内自治振興会との再会をお約束し交流事業を終了いたしました。

山内自治振興会の活動に良い刺激を受けながら充実した一日を過ごさせていただきました。



～地域おこし協力隊便り～

隊員 田中啓介

先日のわくわくフェアでは、協力隊テントにお立ち寄りいただきましてありがとうございます。一年の成果物として「ひまわり油」の試作品を出ささせていただいておりました。「買いたい！」とのお声をいただきながらも、試作品ということで提供できず申し訳ありません。次年度に向け商品化を進めてまいりますので、今しばらく楽しみにお待ちください。

～元気でキレイなひまわりのように(効能)～

◎体の中から美しく

妊娠中の栄養補給・ダイエットサポート・冷え性改善・美肌作り・アンチエイジング・便秘対策・むくみ解消

◎太陽の下でがんばる身体作り

血行促進・ストレス緩和・貧血予防・疲労回復・体力増強・抗酸化作用(老化・高血圧・高脂血症・動脈硬化)

◎栄養成分の宝庫

トナリン・ビタミンB群・亜鉛・鉄分・葉酸・不飽和脂肪酸・ビタミンE・食物繊維・マグネシウム・カリウム・カルシウム・トリプトファン…などなど

自然食品から摂取することは極めて難しい「トナリン」

ホルモン性物質を含んでいないから妊娠、授乳中などデリケートな時期に「安全性が高い」

種子類の中でも圧倒的に「葉酸」の含有量が多く造血作用促進
ミネラルのバランスが素晴らしく栄養吸収～代謝までを円滑に
ピーナッツの約3倍「ビタミンE」

チーズ・レバーと同等量の「トリプトファン」でリラックス&睡眠改善



10月8日(土)に宮地区自治振興会地域振興部会による6次産業化研修会を甲南第三地域市民センターにおいて27名の参加を得て開催しました。講師に株式会社フラン代表取締役竹川智子さんをお迎えして、宮の農産物魅力向上のため6次産業化の取組についてご講演いただきました。

さて、皆さん今回の研修テーマである「6次産業化」とはどのようなものかご存知ですか。農産物を作るのが第1次産業、食品加工が第2次産業、流通・販売が第3次産業です。生産者が加工や販売に関わることにより、生産品に高い付加価値を持たせ、より高い利益を上げることができます。これが農業の活性化を目指す、1+2+3=6次産業化の取り組みです。

もち米をはじめとする宮地区の農産物を、より付加価値のある特産品にするにはどのような取組をすればよいのかについてご指導いただきました。また、生産品の差別化などを行い、商品の個性を生かす考え方など具体事例を示しながら分かりやすくお話いただきました。

研修会終了後、先生を囲み、宮の有志の方々と特産品開発をテーマに話し合いを行いました。特産品開発や6次産業化を進める取り組みの第1歩が始まるわくわく感に燃えたところで研修を終了いたしました。

6次産業 化研修会



わくわくフェアに特産品試作コーナー

宮地域では、いろいろな農産物が作られています。今年新たな試みとして「旨いもん」づくりを募集していましたが、4名の方が自慢の「旨いもん」5種類を作り、わくわくフェアに出店されました。

農産物を加工して商品化し、販売まで行う6次産業化への道筋をつけたいとの思いがありましたが、説明不足もあってか応募が少ない状況でした。それでもわくわくフェア特産品コーナーには面白いものが出されました。当日は、滋賀の食文化研究会の小島朝子さんと甲南パーキングエリア統括部長の西村勝さんに商品化についてアドバイスをいただきました。必要であれば今年度中に専門家による指導も行い、宮のブランドとして発展させたいと考えています。

商品化のためには加工所や販売ルート開拓が必要ですが、工夫しながら少しでも6次産業に近づけたいと思っています。また、今回の商品試作とは別に、今年度中に専門家による相談指導も予定していますので、ものづくりに興味のある方はぜひご参加ください。

わくわく出店 特産品

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|--------|--------|
| ・甲賀流忍者弁当 | ・ゴーヤーの砂糖漬 | ・忍びのグラノール | ・高麗人参酒 | ・餅サンド |
| 杉田 千枝子様 | 田中 順子様 | 川端 美愛様 | 井口 雄三様 | 井口 雄三様 |



わくわくフェア開催



十二月三日（土）にわくわくフェアを甲南第三地域市民センターで開催いたしました。

当日は十二月とは思えない絶好の小春日和に恵まれ最高の条件で行うことができました。

今回、土山町の山内自治振興会からご参加され、名物鹿カレーを提供していただきました。

また、JAさんから手打ちそばやミカンの詰め放題等でご参加いただきました。

地元では、正月用品のしめ縄やもち米、また各種のお惣菜など所狭しと並び大変華やかな市が立ちました。併せて、恒例の餅つき実演やきなこ餅のふるまいも行われ、近づく歳末の気分を大いに盛り上げていただきました。

二階では、クリスマスリースの工作、ギヤラリーコーナーでは小学生の作品や地元の方の見事な芸術作品が例年にも増して多く展示され、すばらしい文化祭コーナーができました。

また、地元のお店や企業様からのご協力によるスポンサー賞が揃ったガラポン抽選コーナーでは、終始行列が絶えずイベントの盛り上げていただきました。

活気ある宮地区を前進させるため、次回わくわくフェアに乞うご期待。

